

敦賀発電所敷地内の破碎帯調査に関する有識者会合 ピア・レビュー会合の状況について

平成26年12月10日、ピア・レビュー会合が開催され、「敦賀2号機の真下を走るD-1 破碎帯は活断層である」とする評価書案の結論について疑問視する、あるいは否定する意見など、評価書案の根幹に係わるご意見が出されました。

◇ピア・レビュー会合とは…

規制委員会の有識者調査団の中で、敦賀担当の有識者が作成した評価書案について、他の発電所担当の有識者が検証する会合です。
なお、当社は、この会合において説明や議論の機会を与えて頂くようお願いしていましたが、認められず参加しておりません。

【ピア・レビュー会合の状況】

◆他の発電所の破碎帯調査を担当する有識者から、評価書案の問題点を指摘するご意見が数多く出されました。

- 十分信頼できる事業者の評価や考え方を否定するのであれば、評価書案には必要なデータを記載し、丁寧な説明を行うことが必要である。
- 評価書案は、可能性の低いものを前面に出しており、科学的でも技術的でもなく、明らかに何らかの別の判断が入っている。観察事実に基づき、可能性の高い見解を示すことが重要である。

(ピア・レビュー会合で出された各論点に対する主なご意見は、裏面を参照)



【当社の見解】

当社としては、原子力規制委員会に対し、ピア・レビュー会合で出された評価書案の根幹に係わる数多くのご意見や、当社が提示した観察事実、科学的データ等を十分に勘案して、**評価書案を見直して頂くよう、強く求めています。**

ピア・レビュー会合で出された主なご意見

◇詳細につきましては、当社ホームページに掲載（1月6日）の「ピア・レビュー会合で出されたご意見の整理について」をご参照ください。
(<http://www.japc.co.jp/news/other>)

論点	敦賀担当の有識者が作成した評価書案	他の発電所を担当している有識者から出された主なご意見 (ピア・レビュー会合(平成26年12月10日)議事録より要約)	論点の説明図(当社資料から抜粋)
地層の堆積年代(⑤層下部)	⑤層下部は、12～13万年前以降に堆積した可能性がある。 12.7万年前の火山灰(以下、美浜テフラという)の含有率が低い。 ⑤層最下部で美浜テフラが検出されないのは、地層の粒が粗いためであり、堆積年代を特定できない。	⑤層下部は、12～13万年前頃の地層と評価できる。 - 濃集分析※で火山灰の出現パターンが認められることが重要。評価書案には濃集分析結果の記載がない。含有率が低いことだけを記載するのは、評価をミスリードする。 (※火山灰の含有率が低いものを対象とした分析手法) ⑤層最下部で美浜テフラが検出されないというのは、その地層が美浜テフラよりも前に堆積したことを示しており、美浜テフラの降灰層準※を認定するのはごく自然である。 (※上空から降り積もった火山灰が、ほとんど移動しないで降り積もった場所に残った層。この火山灰により地層の年代が特定できる。)	《D-1トレンチ北西法面堆積層の断面イメージ》
K断層の活動性	K断層が、⑤層堆積後(12～13万年前以降)に活動した可能性は否定できない。 ③層は堆積構造が明確でない地層のため、活動性の議論が困難である。	K断層を覆う地層は、③層であることは現場で確認できる。 - 観察事実に基づけば、③層の走向、傾斜はむしろ非常によく揃っているデータと見るべきである。さらにこれらのデータは、2つのデータ群に分かれることは明らかである。 - 原電道路ピットの③層は、D-1トレンチ北西法面から連続して確認されていることが重要。	K断層の影響を受けていない(変位・変形はない) 水平な砂層 ③層上部 変形(地層の曲がり) ③層下部 実測60cm以上の変位・変形 K断層によって大きく変形 変位(地層のくい違い) ほぼ水平にたまった腐植層が傾いている
D-1破砕帯(G断層)とK断層の連続性	K断層は、D-1破砕帯と一連の構造である可能性が否定できない。 「走向、傾斜」から判断して、K断層は、D-1破砕帯につながっている可能性がある。 - K断層の変位が南に向かって急激に減少し、原電道路ピット付近ではほぼ認められなくなることは不自然である。	K断層は、D-1破砕帯とまったく異なる。 - 断層の走向、傾斜、破砕の程度などの複数の観点から見て、D-1破砕帯(正断層)とK断層(逆断層)とはまったく異なるものである。 - K断層は原電道路ピットでは変位量が終息し、ほぼゼロになるということは事実である。主断層から別れてできた副断層が急激に小さくなるという事例は経験的に多々あり、不自然ではない。 また、副断層は分布が局所的という事実があり、K断層が2号炉の方向へ連続する可能性は非常に考えにくい。	《D-1トレンチ平面図》



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時～17時)
当社ホームページに「D-1 破砕帯は活断層でない」とする当社の調査結果を解説した動画を掲載しています。(<http://www.japc.co.jp>)